

安全の工夫

ヒヤリハット事例と対策を掲示

安全・環境『見える化運動』

ヒヤリハット事例 7月度



盛土作業にて、作業員と重機が接触しそうになった。



改善策

「みはり組」の活用

作業員ヘルメットと重機後方にセンサーを取付け、両者が近接（10m以内）するとブザーが鳴り注意し、接触を防止する。

取扱教育実施
(シオレント & 北海道建設指導員)



作業員ヘルメット



重機後方に設置
(タイヤラップル・ザ)



岩倉建設株式会社
Iwanohe Construction Co., Ltd.

ポイント

- ・作業におけるヒヤリ・ハット体験を収集し、対策(改善策)を含めて図案化し、現場内に掲示して「安全の見える化」を図り、工事関係者へ周知を行い、類似のヒヤリ・ハット再発防止対策としている。